



広島県自治総合研修センターにおける 新型コロナウイルス感染症対策について

— 感染症拡大防止のため、必ず内容を確認してください。 —

1 受講生へのお願い

研修に参加するにあたり、次の3点について御協力をお願いします。

【チェックリストとしてご利用ください。】

□ 体調がすぐれない場合は欠席

当日の朝、必ず **体温を測定** してください。発熱や倦怠感が確認されるなど、**体調がすぐれない受講生については、受講できません。**

その場合は、必ず研修センターと所属長の両方に電話した上で、欠席してください。
研修中、発熱や咳等の症状が生じた場合には、研修センター職員に申し出てください。



□ 咳エチケットと手洗いの徹底

受講中は **マスク着用を必須** としますので、各自で準備してください。
また、研修室入室前の **手洗い** など各自での感染防止対策に努めてください。



□ 体温調整ができる服装

研修室の窓やドアを可能な限り常時開放します。快適な室温の維持が困難となるため、各自、体温調整ができる服装でお越しください。



- ※ 受講前に発熱等の風邪症状がある場合は、速やかに医療機関を受診してください。受講については医師の指示に従ってください。
- ※ 受講者が受講後14日以内に発症（疑いを含む）した場合は、速やかに研修センターまで連絡してください。
- ※ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、研修を延期又は中止する場合があります。

2 研修センターの取組

クラスター（集団）の発生リスクを下げるための3つの原則に基づいた対策を実施します。

1 換気を励行する（密閉）

換気を徹底するため、研修室や廊下等の窓やドアを常時開放して、研修を実施します。

2 人の密度を下げる（密集）

定員を制限し、会場に入る人数を通常時より少なくしたうえで研修を実施します。

3 近距離での会話や発声を避ける（密接）

配席を工夫し、なるべく手が届く範囲以上の距離を保てるようにします。また、研修期間中の配席（スクール、グループ）は変更しません。

その他にも、共用品を使わないことや使う場合の消毒等の対策も実施します。

- ✓ ブランケットの貸出しを禁止するなど必要最低限のもの以外の物品を貸し出さない。
- ✓ 研修センター職員は毎朝体温を測定し、マスクを着用する。
- ✓ 研修センターのお手洗いのハンドドライヤーの使用を禁止する。
- ✓ 受講生や研修センターにおいて感染者が生じた場合は、ただちに各所属に対して連絡する。